



Vol. 04 「水素の青」で信虎と甲府市の未来を照らす



「こうふ開府の日」に水素・燃料電池発電機を活用し、
武田信虎公像のライトアップを実施

水素・燃料電池発電機の製作



今年度の「小口水素アプリケーションの製作等を通じた人材育成事業」では、日邦プレジジョン株式会社の協力の下、水素・燃料電池発電機の製作に取り組みました。8月に秋田県で開催されたソーラーカーレースでは、ピット内の電力として活用し、そこで得られた課題等を踏まえ、学生自らが、イベントやこうふグリーンラボでの具体的な活用シーンを想定しながらブラッシュアップを行いました。

こうふ開府の日



12月20日(土)、甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場で開催された「こうふ開府の日」にブースを出店し、製作した水素・燃料電池発電機を活用して武田信虎公像をライトアップしました。

当日は、水素・燃料電池発電機の製作に携わった学生が、来場者に対し本事業の内容や取組の趣旨についての説明を行いました。また、学生がステージに登壇し、製作過程での苦労や甲府市の未来に向けた思いについて発表しました。

